

広島中央区域事後評価第1回第三者委員会議事概要

1. 実施日 平成19年5月25日(金)

2. 場所 広島県三原市、世羅町

3. 出席者

第三者委員 齋宮 正憲 (社)中国地方総合研究センター 常務理事

” 中嶋 康博 東京大学大学院准教授

” 中道 仁美 愛媛大学准教授

” 溝口 勝 東京大学大学院准教授

” 矢野 泉 広島大学大学院准教授

(敬称略、五十音順)

事務局等 農林水産省農村振興局総務課係長

(独)緑資源機構顧問 ほか

4. 現地調査の概要

区画整理団地及び農業用道路等の現地調査を行い、受益者等から事業前後の農業経営及び地域農業の変化、事業の波及効果等について聞き取りを行った後、意見交換を行った。

5. 第三者委員会の概要

委員長選出

委員長には、全会一致で中嶋委員を選出した。

8月の公表に向けた今後の委員会の運営

第三者委員会の今後の進め方については、今回の委員会での意見・指摘を踏まえ、事務局で資料等の整理を行い、次回の委員会で意見のとりまとめを行うこととした。

意見・指摘等

水田農業において、区画整理で整備された基盤をベースに集落農場型農業生産法人が設立されたが、将来見込まれる担い手不足への有効な対応策が必要。

農業用道路の整備により、観光客が増えたことで地域農家の営農意欲が高まったが、そのことを把握する調査があってもよかった。

道路整備によりアクセスが改善しても農村から都市へ人口流出することはなく、事業を契機にした農業施設整備やグリーンツーリズム振興等により町内に雇用が確保できている。